

# エキスポ・パート輩出様々な分野で活躍

## 青春スクロール

母校群像記

saitama@asahi.com

さまざまな専門分野のエキスポ・パートとして活躍してきた市立浦和高校(市高)の卒業生が、元NHK記者でBSの国際情報キャスターを務めたジャーナリスト羽太(1966年卒)は、高2の修学旅行で東北を巡った最後の夜、山形県の天童温泉で、この記事を執筆した。旅行委員だった羽太は夕食後に旅館の部屋でフォークダンスを企画。だが、先生の許可を得るのを忘れていたため、直前に呼び出され、こっそりしほられることに。至らぬ自分へのいらだちと悔しさに涙がこみ上げた。夜8時半までの許しがたが、教員さんだけ約束の時間に、終了を告げる羽太に、見守っていた先生は自分の腕時計を見せた。「俺の時間はまだ8時15分だぞ」。涙が再びあふれた。「私の修学旅行はこの15分に凝縮している。厳しさと思いやりの心をもったジャーナリストを目指すように」

## 市立浦和高校17

戦後間もない時代から市高は専門家を世に送り出してきた。紫綬褒章を受章した、女子栄養大学副学長香川靖雄(88)と元明治製菓生物科学研究所長日高秀昌(88、1951年卒)。同級生だった2人は、元シンパブエ大使館島光雄(88、1951年卒)、元NHKディレクター清水満(市高3期)に、歯科医塩野博(同3)に、共に与野にあって重工業(同)の校舎で高校生活を送った。香川は、生物部創設期のメンバーで、コスモスの水耕栽培による栄養素

の研究に打ち込んだ。その研究発表は浦和生物同好会に表彰され、副賞として専門書「原生動物」を手にした。高3で都立高に転校するが、この一冊はバイブルのようになり、今でも大切に保存している。「当時めったに手にしないような貴重本。何度も読み返し、生化学者の道を突き進む原動力になりました」。2人はともに東大に進学。生徒会長だった塩野はこう振り返る。「香川が天才肌なら、日高は努力で能力を開花させた秀才タイプ。教室の隅でいつもコツコツと勉強していた姿が目についた」。リケジョの先駆け、核化学研究者で元環境科学技術研究所調査役の荒谷美智(87、52年卒)がいる。ソフトボール部に所属し、平和を満喫するように日々暮らした。戦後の混乱期で、本来なら大学で教壇に立つような学者肌の教師も多かった。家庭科の先生は開

口一番、「この世の制度や道徳は、そのときに身に着ける衣装のようなもの」と語り、トーマス・カールの「衣装哲学」の講義を始めた。「学問の世界を垣間見ることができた」と、科学者の道に近づいた。お茶の水女子大理学部に進学する。葉谷は後輩たちへ「受験のためだけの勉強ではなく、興味がおもむくままに好き放題やってみてほしいです」とメッセージを送る。日高たちが高3となった50年4月、浦和市立女子高と統合し、現在の市高が誕生。校歌はまたなかつた。教頭で国語教師吉沢光平(故人)の作詞、音楽教師金子一雄(故人)の作曲で、校歌が完成したのはこの年の暮れ。「曙の白雲がうさぎの如く、まことの泉湧き出て」。男女の歌声が一つになって高らかに学舎に響き渡ったのは翌春、市高1期生の卒業式だった。その後、サッカー部の全国制覇や野球部の甲子園ベスト4の活躍とともに、市高の校歌が全国に届くことになる。

次回は年明けに再開します。 敬称略

## 秩父三大氷柱 開催へやきもき

秩父地方の観光スポット「秩父三大氷柱」がこの冬も開かれる。ただ、昨シーズンに続く暖冬を懸念する声や新型コロナウイルスの感染が広がる中で開催に、関係者は気を遣っている。横瀬町観光協会によると、同町昔ヶ谷保で開く氷柱の祭典「あしがくぼの氷柱」は1月8日から2月23日までの日程で行われる。新型コロナウイルスの感染予防策として、入場制限を行い、土曜と祝日は事前予約制にする。環境整備協力金として300円を徴収する。西

秩父市大滝の「三十歳の氷柱」も同じ日程で観光客を受け入れる。関係者は「岩清水がたっぷり出ず氷のオブリエを築くのも難しい」と説明する。環境整備協力金として200円を取。入り口には感染予防を呼びかける看板を設置し、ソーシャルディスタンスが取れた会場づくりを行うという。昨冬は1週間ほどで閉園しただけに、PRに力を入れている。小鹿野町の「尾ノ内百景氷柱」は昨冬と同様に、環境整備協力金を取らずに無料開放にする。会場に係員も配置しないという。

秩父市大滝の「三十歳の氷柱」も同じ日程で観光客を受け入れる。関係者は「岩清水がたっぷり出ず氷のオブリエを築くのも難しい」と説明する。環境整備協力金として200円を取。入り口には感染予防を呼びかける看板を設置し、ソーシャルディスタンスが取れた会場づくりを行うという。昨冬は1週間ほどで閉園しただけに、PRに力を入れている。小鹿野町の「尾ノ内百景氷柱」は昨冬と同様に、環境整備協力金を取らずに無料開放にする。会場に係員も配置しないという。

秩父市大滝の「三十歳の氷柱」も同じ日程で観光客を受け入れる。関係者は「岩清水がたっぷり出ず氷のオブリエを築くのも難しい」と説明する。環境整備協力金として200円を取。入り口には感染予防を呼びかける看板を設置し、ソーシャルディスタンスが取れた会場づくりを行うという。昨冬は1週間ほどで閉園しただけに、PRに力を入れている。小鹿野町の「尾ノ内百景氷柱」は昨冬と同様に、環境整備協力金を取らずに無料開放にする。会場に係員も配置しないという。



市町村別などの感染者数

自治体	人数	増減
さいたま市	2011	(+47)
川越市	639	(+15)
熊谷市	238	(+5)
川口市	1202	(+3)
行田市	57	
秩父市	643	(+1)
所沢市	115	(+4)
飯沼市	109	(+1)
加須市	114	(+1)
本庄市	108	(+2)
東松山市	118	(+2)
春日部市	184	(+13)
羽生市	106	(+1)
鴻巣市	165	(+3)
深谷市	291	(+2)
上尾市	494	(+9)
草加市	575	(+9)
蕨市	156	(+2)
戸田市	412	(+10)
入間市	225	(+6)
朝霞市	164	(+4)
志木市	253	(+5)
和光市	253	(+10)
新座市	197	(+1)
桶川市	94	(+7)
北本市	41	(+1)
八潮市	152	(+2)
富士見市	267	(+2)
三郷市	230	(+4)
蓮田市	109	(+2)
坂戸市	166	(+3)
幸手市	44	(+1)
鶴ヶ島市	71	(+3)

【24日現在、発表数から。合計は感染者含む延べ人数。カッコ内は前日比。】

### 川崎大佛 墓じい合祀

身寄りがない、子供は娘だけ、という方々のための合祀です。永代に亘って、毎日、僧侶が読経をいたします。宗派は問いません。生前予約も可能です。ぜひのお願いはありません。安撫のお墓もご用意します。

お問合せ 眞宗寺 川崎霊園  
044-965-0965  
川崎市麻生区王禅寺1241

### 清水章弘先生の なぜなぜ勉強法

「答え探し」より「問い探し」。気になる記事を「なぜ？なぜ？」と探究するのが、新しい時代の勉強法。たとえば、このように。

朝刊オピニオン面「フォーラム」のページ。専門家や一般人の意見だけでなく、事前に集計したアンケートがグラフ化され、見ごたえがあります。しかし、意見やアンケートの結果を眺めるだけでは社会問題を「自分ごと化」しにくい。おすすめは、自分たちも回答してから記事を読むこと。

11月22日付の「無人駅とバリアフリー」で、「駅の無人化について、どう思いますか」との質問に賛否を示した生徒たちは、大人の回答に興味津々。視覚障害者の方からの「数回ホームから落ちましたが、はい上がるのも自力なの

### 社会問題 自分でも考え

「そんな問題じゃないのか」とハッとしていました。次に11月16日付朝刊の記事「無人駅 5割に増加」を紹介。無人駅数の推移グラフをみると、2003年から09年までは減少傾向、その後は上昇。「この時期に減ったのはなぜ？」。みんなで予想しました。「事故があって、駅員さんを増やしたのかな」「利用者が増えたのかな。でもなぜ？」。調べても明確な答えは分かりませんでした。最後はJR高輪ゲートウェイ駅の人工知能(AI)搭載ロボットを調べ、未来の無人駅を妄想。「ロボットであふれているはず」と中学生たち。重たい話題でしたが、その感性が担う未来に期待してしまいました。

### 草津温泉にきたら

山菜夫ら 食べ放題

十割そば 湯加横丁 銀の鈴

群馬県草津温泉 大東館西館1階【湯畑目の前】  
0279-82-5963  
営業時間10:00~22:00

## 免疫向上と腸内細菌の密な関係

新型コロナウイルスへの警戒が続くこの冬、免疫力に大きな注目が集まっています。ひとの免疫細胞の7割は、実は、腸にあります。その免疫力の向上に、善玉菌も深くかかわっていることが近年の研究でわかってきました。

### なぜ粘膜の免疫が重要か？

皮膚：多層構造  
皮膚は多層構造で物理的なバリアとしてはたく(外から異物が侵入しづらい)

腸管(粘膜)：1層構造  
腸管の内と外を隔てるものは1層の内皮細胞のみ(皮膚と比べると外から異物が侵入しやすい)

### 免疫細胞の7割が腸に

なぜ粘膜の免疫が重要なのか。皮膚と粘膜で構造が大きく異なるからと東京大学教授の新蔵礼子さんは言う。教授は、角質層から真皮まで、細胞層が幾重にも重なる多層構造で、ウイルスや細菌が付着しても、すぐに体内に侵入することはない。一方、目や鼻や口の粘膜では体の内外の区切りはただ1層の内皮細胞だけ。異物がはるかに侵入しやすい。なかでも腸は、栄養素などを体内に取り込むための微小な突起やひだがあり、その表面積はテニスコート約1.5平方メートル。皮膚全体の面積の200倍にもなる。「免疫細胞の7割が腸に集中するのは、このためです」。

広大な粘膜を守るには「IGA抗体」という免疫物質だ。食べ物と一緒に入ってきた病原体などに付着し、増殖を抑えたり体外に排出させたりする。特定のウイルスや細菌だけでなく、様々な種類の病原体に反応する守備範囲の広い「特異的」な免疫機能が未熟な赤ちゃんのため、母親の初乳にはこのIGAが大量に含まれている。

このIGA抗体は、腸内細菌とも密接な関係にある。

### 酢酸などの短鎖脂肪酸

一方で、ビフィズス菌が産生する酢酸や短鎖脂肪酸にはIGAの産生量を増やす作用がある。互いに相手の力を高めあう、こうした共生関係を通じ、善玉菌は免疫力の向上にかかわっている。

「様々な食品を取れば免疫のトレーニングになる。おなかの声を聞き、自分にあつたものを選びたい。アルコール、酢酸などの短鎖脂肪酸は、腸内環境を整えるのに役立つ。腸内細菌の増殖を促すことができる。腸内細菌の増殖を促すことができる。腸内細菌の増殖を促すことができる。」

新蔵さんらの研究によると、IGAの役割のひとつが腸内フローラのコントロール。約1千種類とされる腸内細菌から大腸菌などの「悪玉菌」を見つけて出し、その増殖を抑え、ビフィズス菌などの「善玉菌」が腸内で優位を保てるようにする。またIGAが細菌などと結びつく能力には強弱があり、その力が弱まると、腸内環境のバランスが崩れやすくなる。

「腸内フローラは腸の免疫の要諦。腸内フローラは腸の免疫の要諦。腸内フローラは腸の免疫の要諦。」

新蔵さん(東京大学大学院) 新蔵礼子